

第五監視艇隊機密第

三號

秋

昭和十九年十一月二十一日

19.12.23

50

監視四課へ

特設監視艇ふた丸戦闘詳報

自昭和十九年十一月十六日
至同 年十一月十七日

第五監視艇隊

1163

一任務

特設監視艇「房凡」係艇第三大我凡ト其ニ房凡艇長指揮、
下ニ昭和十九年十一月十五日〇〇〇〇横濱出發手哨戒任務ニ従事ス、
目的ヲ以テ南哨戒線(北緯三〇度東經一三八度)ニ向テ航行中、

二經過

(一)自艇、戰闘經過

第一	次	戰	闘
十月十六日	風向 細	風速 一五米	視界 八〇米
八〇五	八三三	八四五	八四〇
戰	闘	經	過
北緯三一度五三分東經一三九度四〇分ニ於テ右一〇 度約五〇米ニ敵浮上潜水艦一隻ヲ発見同時 ニ敵潜ヨリ機銃射撃ヲ受ケ 直ニ二十五米機銃ニテ應戰ス 第三大我凡側方ヨリ應戰中ナルヲ認ム 約四發、砲彈ヲ受ケ 舵索切斷操舵不能、無線故障、遂ニ受信 不能 舵索修理完了 敵潜ヲ見失フ			

(2)

第二 次 戦 闘			
月 日	時 刻	戦 況	備 考
十月十七日	〇五三〇	北緯三二度四〇分東經一四〇度九分ニ敵浮上 潜水艦二隻(大小各一隻)ヲ右正横約一五〇 米ニ発見直ニ砲戦開始 我艦撃ヲ加フ 只敵ハ我艦ヲ對射ニ出デタルヲ以テ直ニ小艇潜水 艦ニ突入セバ敵潜二隻共ニ面舵ニ轉舵小艇 潜水艦先頭ニ單從陣トナリ右正横五〇 米近近接敵十二種砲ニテ攻撃ヲシタル 人員兵器損傷甚シク操舵不能且彈藥亦 補給意ニ如クナラズ直進中敵大艇潜水艦ハ 追跡ニ約一五〇米附近迄進中機ヲ失 セバ爆雷(傘附深度六〇米)二個投下セリ 一個ハ敵潜、艦首、一個ハ司令塔附近真下 ニテ爆発シ敵潜ハ瞬時ト停上ゲ重油四散約 四十度角度ヲ以テ艦尾ヨリ沈没セリ 爆雷投下時敵潜ハ之ニ氣付カザルモ、如何回避 セズ 他敵潜之ヲ見ルヤ一隻ハ東方ニ進退セリ	

三、令達報告及通報

發 日 時	受 日 時	令 達 報 告 及 通 報
一六〇三〇 房九艇長	P 245	房北機密第一六八三番電 我敵潛小交戦戦死一重傷一北緯三二度一分五秒經一三九度三分機械故障航路不明航路故障自下將投中 本島見張所機密第一七八二番電 第一回十六日一七五北緯三二度一分五秒經一三九度三分機械故障航路不明航路故障自下將投中 北緯三二度一分五秒經一三九度三分機械故障航路不明航路故障自下將投中 一隻艇退後部兵員被彈浸水甚し戦死重傷者 アルカ島傷者本日ケ島ニ収容應急治療中 本島見張所機密第一六八三番電 第二回戦闘敵は上漂水艦二隻ト交戦中船体大破戦 傷死者多ク遠ガカント全速力ニ避退中敵潜水艦我 ヲ追跡約一五ノホトリ機ヲ逸セズ爆雷二深度六〇ホトリ 後射ニ依リ敵潜水艦ト其下ニ爆発セルモノ如シ艦首ヲ 空中高く持ケ上ケ其儘艦ヲシテ沈没我浸水甚シク 自力航行不能
一八四七四〇 房九艇長	P 225	
一七〇五三〇 房九艇長	P 225	

一八日一三三。 青島見張所	一九日一三四四 青島見張所	一九日一三三六 房見	一九日二〇二六 3AF長官
旗 ZZS	旗 ZZS	旗 ZZS	第二直 哨隊
詳報通信機故障機関部損傷後部浸水甚し自力航行不能戦死者火葬ニ處ス重傷者應急手当中ナルモ治療設備ナク何分御指示ヲ得度 宛 久米部隊 發 房見 艇長	青島見張所機関部第一九一〇三。番電 ツナレ横防第三関凡ニ護衛サレ一九日一〇〇。八天島經 由横決ニ回航ス	房見機関部第一九一三〇。番電 極力排水ニ努メツツアリ第三関凡ニ護衛ヲ受ケ八天島 經テ横決ニ回航ス	字凡ガ一七〇五三〇。敵ハ二隻ト云々戦具一一隻ヲ撃手沈 セルハ大ニ可ナリ
ク	ク	ク	ク

四戰果及被害

山戰果

第二次戰關ニ於テ

潜水艦一隻撃手沈
他一隻ニ相當ノ損傷ヲ與フ

四被害

十二

"

•

1

1

2

...

1168

七、七龍機銃彈藥包
二式爆雷

一二。〇。発
三個

六、功績

敵潜ニ度ト遭遇スルヤ機ヲ速セズ之ヲ邀撃約一時間ノ激闘後
船体人員ニ相當ノ被害ヲ蒙リテ其要兵兵器殆ド使用ニ堪ヘザル
ニ至リ敵ヲ誘致シテ近距離ニテ爆雷投下シ之ヲ撃沈セシメタル
ハ功績極メテ顯著ナルモノト認ム

七、戦訓

一、今般、對潜戦關ニ於テ現狀裝備中十三號ニ基テ十六號一基七七號
一基ハ効果イウ又對空戦關上ニモ之等機銃ヲ二十五號機銃
ニ換装スル要アリ又二十五號機銃彈藥包一基ニ付少クモ一。
。發又彈倉十個増備ノ要アリ
二、發煙彈ヲ使用敵潜ヲ避退誘致シテ近距離ニ近接セシメ艇尾
ヨリ爆雷ヲ投下敵潜ヲ爆沈(破)セシムル戦法ハ今回、安易續ニ鑑
ミ有効ナルモノト認ム
三、視界不良波浪大ナル時ニ有効ト思フ

三) 對潜水艦攻撃用トシテ短入強砲特ニ必要ナリ、機銃ノミニテハ敵潛ハ我機銃ヲ無視シ砲撃ヲ依ル為人員船体被害大ナリ

四) 監視艇乗員船員ハ本戦場中特ニ勇敢ニシテ始終奮勵セリ

戦死傷者官氏名
一、戦死 九名

等級	氏名
水長	川上 謙一郎
大	大野 文男
上水	木内 謙三
大	坂根 勇一
大	大日方 秀男
一水	成田 國男
操舵手	櫻井 仁作
大	岡田 新一

(5)

1170

二戰傷六名

等級	氏名	兵曹長	佐藤	一水	加藤	敏	喜	郎	藏	安	田	銀	三	佐	久	間	田	金	市	甲	校	員

1171

別圖第一

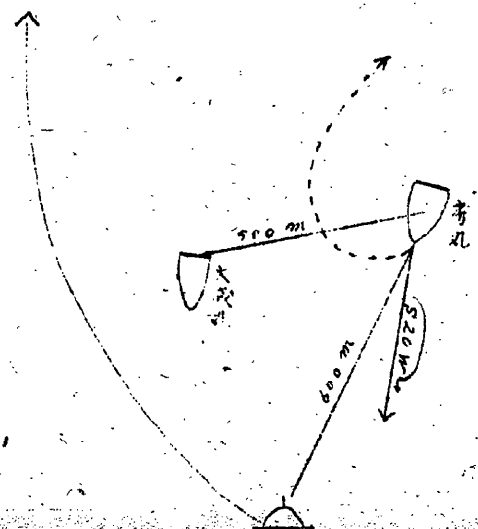
合戦圖

天候	雨
風向	SSW
風速	15 m
視界	800 m

十一月十六日。元
北緯三十一度五三分
東經一三九度四十分

1805 敵潛発見
砲戦開始

1840 敵潜が見失



天候	曇(眩)
風向	NNE
風速	14 m
視界	3000 m

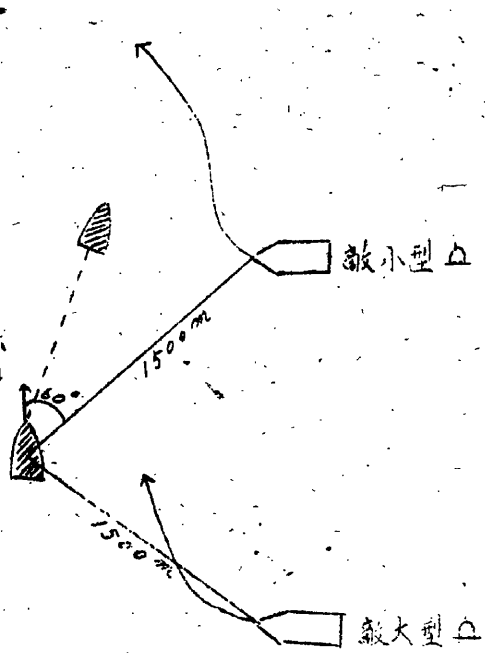
第三次戦闘

十一月十七日
北緯三二度四十分
東經一四度九分

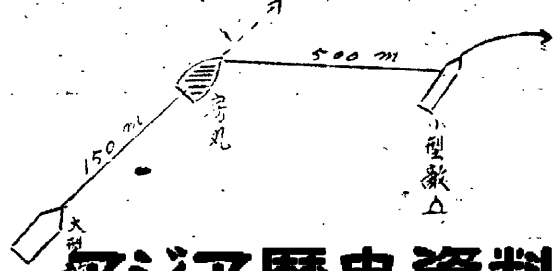
0530 敵△二隻発見
砲戦開始

0620 敵△大型我へ迫跡
後方150m附近に
可以子爆雷二個を
投射。一個艦首
一個司令塔附近
に炸裂。
敵△約40度ノ
角度ニテ艦尾を
照準セルヲ認め

0638 敵△(小型)東へ
進走セリ



↑ 我針路
↑ 敵潜針路
↑ 敵潜
↑ 房丸



爆雷後射時ニ
於テ射撃

別圖第二

行動圖及合戦圖

